

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第18号

福山市身連通信

2015 (H. 27) 年 5 月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

目 次

市身連	第五回理事会開催	1
市身連	平成二六年度決算書	2
県身連	平成二六年度第二回総会	3
パソコン講習会福山地区で		4
福山市社協 評議員会開催		5
松永協会 解散へ		
今後の行事予定		
協力の御礼		
賛助会員募集		
編集委員会より		6

福山市身体障害者団体連合会 新年度に向けて準備 法人化の体制作り期間を経て

NPO法人福山市身体障害者団体連合会は、法人となって2年目の期末を迎え、この間に法人としての体制づくりや新しい事業について模索してきましたが、大きく発展はできておりませんが、新年度も始まっており役員改選年でもあって、総会に向けての準備にはいっています。

NPO法人福山市身体障害者団体連合会

第五回 理事会開催

日時 平成二七年四月一九日
会場 人権交流センター事務室

福山市身連は新年度総会を五月一〇日に予定していますので、その総会に付託する案件を理事会で検討、決定しておくための理事会を四月一九日(日)、市身連事務所において開催しました。

小雨模様の午後でしたが、一四名の理事・監事の出席と四名の委任状が届いており、理事会は問題なく成立となり、定款通り理事長を議長に始めました。

資料を配りながらの理事長挨拶になり、型通り議事録作成者、議事録署名人を指名して、旧年度の事業・決算報告等や、新年度の事業計画・予算案の検討、各事業別のあり方等についてと、一番の懸案新年度役員体制についての討議をしました。

前年度報告

先ず事業報告書は、二日前に入院した重藤事務局次長の作成していたものを提出され、事業の成果についての文章については問題ないが、実施についての表にはスポーツ振興事業が抜けていること、日時とする欄に日にちが記入のないことなどを、訂正して提出することと了承となりました。行動日誌は出ていませんでしたが、事務局長によると総会には出すようです。それから決算報告となりましたが、会計事務所には、活動計算書貸借対照表、財産目録、財務諸表を出してもらい監査を受けておりますが、この場では、全体の動き

のわかる、活動計算書での報告とし、そのの監査報告は、理事会では園生監事がされました。

新年度計画・予算案

事業計画は今年は一ページにまとめると事務局長の言がありましたが、半ページオーバーですが、漢字変換数箇所訂正で概ねOKとしましたが、行事予定表は総会には多分出るでしょう。予算書については、事業の予算が不明との質問に各事業部ごとの予算要求が出てこないのが会計の方で予算を作るしかなかったとの説明でした。

広報事業からホームページ開設により広報誌の発行回数等の変更の提案、寄付金の協力のあったこととで新年度会計に繰り入れの事等発言がされました。

役員改選

改選年であるため、先ず理事について事務局で再任・退任の確認をして名簿を出され、了承。その上の役職については今後総務会に提案で、理事会を終了。

NPO法人福山市身体障害者団体連合会				
活動計算書				
H.26年4月1日～H.27年3月31日				
		(単位:円)		
科 目	金 額	科 目	金 額	
I 経常収益		2管理費		
1受取会費	788,400	イ 人件費	0	
正会員受取会費		ロ その他経費	299,211	
団体受取会費	30,000	会議費		16,856
行事参加会費	52,000	旅費交通費		51,218
2事業収益	157,860	通信運搬費		16,251
自動販売機収入		消耗什器備品費		19,400
3受け取り寄付金	20,000	消耗品費		64,343
4受取助成金	1,434,422	印刷製本費		27,000
福山市助成金		水道光熱費		3,164
日身連助成金		租税公課		2,479
その他助成金		事務費		8,930
5その他の収益	120,919	諸会費		6,200
受取利息		交際費		3,240
広告料収入		雑費		80,130
経常収益合計	2,521,601	管理費合計	299,211	
II 経常費用		経常費用合計	2,880,521	
1事業費				
イ 人件費	210,817	III 経常外収益	0	
福利厚生費		IV 経常外費用	0	
210,817	210,817	当期正味財産増減額	△358,920	
ロ その他経費	2,370,493	前期繰越正味財産額	4,007,098	
旅費交通費		次期繰越正味財産額	3,648,178	
738,186	738,186			
通信運搬費				
90,178	90,178			
消耗什器備品費				
208,224	208,224			
消耗品費				
6,168	6,168			
印刷製本費				
82,620	82,620			
水道光熱費				
130,789	130,789			
参加研修費				
144,535	144,535			
諸謝金				
20,000	20,000			
租税公課				
1	1			
負担金				
728,520	728,520			
委託費				
24,860	24,860			
諸会費				
51,000	51,000			
会議費				
31,968	31,968			
交際費				
15,000	15,000			
賃貸料				
800	800			
雑費				
5,144	5,144			
法人・住民・事業税				
92,500	92,500			
事業費合計	2,581,310			

福山市身連は法人として会計事務所に経理をして頂いていますので、決算期、貸借対照表、財産目録等の決算書類を出してもらっていますが、その監査をしてもらったうちの「活動計算書」2ページを少し簡略化して掲載します。

収入を伴う事業がありませんので、財産の目減りは否めません。

一般社団法人広島県身体障害者団体連合会

平成二六年度第二回総会開催

日時 平成二七年三月二〇日
会場 広島県健康福祉センター

広島県身体障害者団体連合会は、年度替わりを見据えて、四月からの活動のため、三月二十日に広島県健康福祉センターに県内の理事、評議員を招集し、理事会・総会を開催しました。

新年度に向けての事業計画や予算案を提案されて、筆者の出席した総会では、原案通り可決され、成立しました。

当日午前の理事会に続き、午後には評議員を集めての総会が開催され、先ず会長挨拶で鎌刈会長が先般県議会自民党議員団と福祉行政関係についての意見交換会を行い、障害者福祉等に対する認識を高めてもらうよう話し合った報告や、今年度から全国的に見てもダント

ツに遅れている、障害者スポーツの県段階の協会の設立に向けて、全国ビリの県にならないよう、ようやく着手することになっている模様などのあいさつを聞いて、議事に入るために議長に安芸太田町の亀井氏を選出して、議事入りしました。

今回の議事は、一号のみで平成二七年度の事業計画案とそれに伴う収支予算案のみですから、先ず事業計画として、新年度すぐの県障害者スポーツ大会から、同じ五月にある全国大会が宮崎で予定されていること、そして今年は九月の広島県大会、十一月の中・四国大会が通常通り予定されておる事が説明されました。

そのほかの予定としては、相談員研修の予定があることはもちろん、県身連としての企画として「花と音楽でリラックス講座」と題して三月に福山で行われたパソコン講座のように、県内の三原、三次、海田、そして福山等を会場に、二胡の演奏を聞いて、フラワーアレンジメントの勉強をする会を予定しており、参加者をそれぞれの地区で募集しますので、大いに参加していただきたいとの話がありました。

会と腎友会の役員―評議員―が新役員に変わった事、この時点で決定ではなかった全国大会の募集はまだ受付けることができますと言われていましたが、その後バス一台追加することになりました。その他に十月以降にダブルレット体験会を予定していることや事務局長から県身連の発行している「身障通信」を出来るだけ多くの人に読んでもらいたいので宣伝してもらいたいとのことでした。

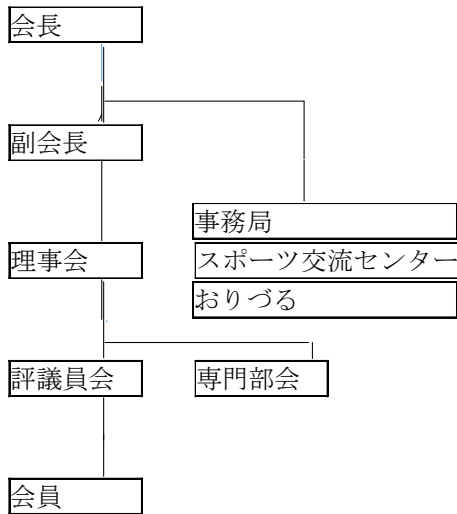
事業計画、予算案とも異議はなく、原案通り可決となりました。その他の報告では、肢体障害連合

広島県の考える障害者スポーツ団体

名称 広島県障害者スポーツ協会（仮称）

対象 身体・知的・精神障害者

組織図



競技別の団体、地区別の団体等具体的な組織の形は見えていません。

広島県身体障害者団体連合会 連携
広島県障害者ITサポートセンター主催

パソコン講習会福山で

日時 平成二七年三月四日～八日4日間
会場 福山人権交流センター市身連事務所

広島県身体障害者団体連合会が主導して県内各地で障害者を対象としたいろいろな講習会がありましたが、昨年末今年度は福山地区にて肢体障害者を対象としたパソコンの講習会はいかがでしょうかと打診があり、福山市身連としても各協会との横の連絡等にメールとかネットのつながりはこれからの団体の必須アイテムなので、毎月の連絡会に計ったところ、是非やってみようべきと即決定となりました。

ただ受講希望者は機材を自分で用意しなくていいならと何人もいました。高年齢者が多く、日程が通院やデイサービスと重ならないか見てから決めるという人も多く

結局3月の4日から6日、11日、18日の4日間午後1時から4時までの3時間づつ、会場は福山市市身連の事務所で開催となりました。

主催者側の定員8名の募集に当初ほぼ同数の希望者がありました。その後一、二他の日程と重なり半分しか出れない等で五、六名のシニアの参加者がパソコンの基礎に挑戦となりました。

今回の対象者は肢体障害者と言うことでしたから機材は極普通にみなさんの使われているもので、特別のソフトも不要で、まずはパソコンになじむことから始まったようです

研修は初日はウィンドウズの基

本操作を学び、二日目は日本語入力の方でキーボードで入力、変換、漢字検索等を練習し、三日目はインターネットの利用法を学びホームページを閲覧・検索できるようになり、四日目はメールの作成、送受信とかアドレスの管理等をできるように研修しました。

優しく指導を受けて、受講生は、休憩と言われてもろくに休まず、真面目に勉強していたようです。パソコンとかプリンタとかちゃん入れた通りにできて来る賢いもんじゃのおと感想を言いながら、和気藹々での講習だったようです。

県身連ではほかにいろいろな趣味や実用の講習を行っていて、来年度にもフラワーアレンジメントやタブレットの体験会の開催を計画されているようで、福山市身連でもこれに参加と法人事業とを合わせて行って、いろんな面で会員のスキルアップに繋げて行ければと思っています。

今回の受講参加者

田上 敬二

伊藤 達雄

以上神辺協会

野田 繁雄

盛次 紀行

藤井 武儀

以上福山協会

皆さんしっかりパソコンに馴染んでください・・・



福山市社会福祉協議会

二〇一五年第一回評議員会開催

日時 二〇一五年三月二十七日
場所 福山すこやかセンター

私達の連合会からも委員や評議員が出ている福山市社会福祉協議会が、三月二十七日（金）すこやかセンターの多目的ホールにて平成二七年度の事業活動のための計画、予算を決定するための評議員会を開催しました。

今回、評議員の出席はけっこう多く、会長のあいさつの後は即議事に入り、あらかじめお願いしてあった評議員のかたを議長に選任し型通り会議は始まりました。先ず事業計画の説明で、事業が多方面にわたっていることから、高齢化社会に対応しての計画を重点的にピックアップしての説明で、全面的に読み上げるには時間を取りすぎるので割愛されました。新年度からは新たに東部事務所を東部市民センター内に増やして全

市的な展開とすることの説明がありました。

最初の基本方針も重点的な説明でしたが、本年度の重点項目も、大きく分けて地域福祉事業、ボランティアセンター事業、安心生活見守りセンターの運営、介護保険関係事業、その他にパソコンによるネットワーク作りと各事業における重点目標が説明されました。その項目のなかで障害者に関する事は、安心生活見守りセンターにおける障がい者相談支援センターでの相談と、障がい者虐待防止センターの運営で相談を受けるといふのがあるのと、介護保険での障がい福祉サービスをする人に資格を取得させることぐらいです。予算案の説明に移り、一般会計の項目のみですがその区分も約

二十項目に上るためその事業項目がどのような事業活動かを振り分けるだけで頭がいっぱいで、その金額が妥当なものであるかなど、普通前年度と比較して考えますが、今回の予算案は前回の評議員会議で説明があったとおり、社会福祉協議会の会計のやり方が変わりますと言われた方式にそって作られていますので単純に比較はできませんでした。

ただそのため参考として後ページにそれを比較した棒グラフの表が添付してありましたので大まかな比較はできるようにしてありました。

市身連から出席した当評議員としてはこの何ページにわたる膨大な数字を眺めていた状態で、議長がこの項目での質問を受けますという問いかけには誰も質問することなく可決されました。

最後に常務理事で事務局長役の方が退任される挨拶があって、代わりに就任される方の氏名が「石口智志」と言う人だと紹介されて会議は終了しました。

松永地区身体障害者福祉協会解散へ

2月の福山市身連の連絡会を、事務所において開催中当日欠席かと思っていた、松永協会の小川会長が会議半ばに顔を出され、席に着かれるかと思いましたが、いやいや一言ご挨拶をと言われ、実は松永協会は会議を開いて協会の解散を決めました！と突然の報告でみんなが唾然としている中、新年度からは連合会の団体会員ではなくなり、正会員、相談員は残りますということになるようです。以前から協会の運営について発言もありましたが、他の協会もそれぞれ似たような懸念を持っており、現実に消滅と言われると少なからずショックを受けています。これをきっかけに他協会にも波及しないことを願うばかりです。

新年度当初の行事案内

福山からバスで応援者と共に参加する予定です

県障害者スポーツ大会

五月一七日、東広島島の陸上競技場（アクアパーク）で広島県の障害者陸上競技大会が開催されます。この大会は全国大会の予選でもありこの成績によって、選考されますが、毎年福山市の広報で募集されてきた記事が今年はなく、締切までに福山からの出場者は1名しかありませんがと連絡があり追加募集されました。その応募者等で

身障全国大会

今年の全国大会は宮崎県で開催され、福山でのツアー計画は厳しく、県身連の企画に参加しようとする身連から一〇名程が五月二五日から二七日の日程で新幹線利用の行程でのツアーに参加予定です。当初三日間の参加はきびしい人も多く、参加者が懸念されましたが、県身連はバスを追加の参加者となったようです。

編集委員会より

五月号の発行は年度替わりの時期で、新年度の諸々の行事・体制等が固まっておらず、中途半端な情報しかお伝えできずジレンマを感じています。次号には、新年度の体制等確かなものをお伝えできると思っています。

それまでには、ホームページの工事中も埋めて、全面を完成させなくてはと思っていますが、これからマニュアルをもらえることになると思っています

(M)

連合会活動にご協力を

私達 福山市身体障害者団体連合会はNPO法人として認可され、現在会員の会費と市の補助で、厳しい運営を余儀なくしております。会員会費のほかに、賛助会員制度を設け広くご入会を案内して、ご協力をお願いしております。（団体は何口でもけっこうです）

個人賛助 年会費 5000円 団体年 一口 10000円

ご協力は連合会加入の各協会が、事務局までご連絡お願いします。

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

事務所 福山市佐波町二六二二 福山人権交流センター内

電話 084・961・4733

ご寄付の紹介と御礼

連合会活動にご協力をお願いしておりますが、先般ご協力の寄付を頂きましたのでご紹介いたします。

新市町 重藤 弘明氏

*入院中のお見舞いに対するお見舞い返しを、市身連にご寄付いただきました。新年度会計に入れさせていただきます。

ホームページ アップロードしました

<http://fukuyamasisinren.sub.jp/>

インターネットの検索欄で、上記のアドレスを入れて検索するか、福山市身連などの文字を入れて検索して見てください。ホームページをご覧いただけます。